

耐えがたい寒さに身が震える。勇者たちは灰色山脈に屈服しつつある。だが自分は何の疑いもなく、全てのことに耐え続ける。この行動は正しいのだろうか？ 圧倒的な戦力差のある敵地へと、アンドールの人々を導いたのは、賢い行いだったと言えるのだろうか？ 自分を前進させている力は、勇気なのか？ はたまた狂気の沙汰なのだろうか？

倦怠：

復活の条件を達成するまで、射手は夜間ゾーンを使用できません。

復活：

〈復活〉の物語カードを公開し、大きな**灰色の冥府ダイス**を振ります。出目に対応する〈復活〉のカード上の盾型のスペースに、射手の**勇者ワッペン**を配置し、復活の条件を読み上げます。

注意：各スペースに配置できる勇者ワッペンは**1枚**までです。出目に対応するスペースに他の勇者ワッペンが配置されているなら、ダイスを振り直してください。

重要：復活条件は、必ずしも達成しなくてもかまいません。復活しなくとも、この伝説を完遂することは可能なのですから。